

複数転移性脳腫瘍に対する定位放射線治療における単一と複数アイソセンター法による治療計画の比較に関する研究

1. 研究の対象

2017 年 4 月～2026 年 3 月に当院で転移性脳腫瘍に対する放射線治療を受けられた方もしくはこれから受けられる方

2. 研究目的・方法

複数個の転移性脳腫瘍に対する定位放射線治療において、従来、ひとつの腫瘍に対してひとつのアイソセンターを用いて照射する複数アイソセンター法が一般的でした。単一アイソセンター法では、マルチリーフコリメータの開口形状を変化させることで、同時に複数個のターゲットに照射できるため治療時間の短縮が期待できます。転移性脳腫瘍は個数・サイズ・存在位置などのバリエーションが多く、患者さんに応じて、単一アイソセンターか複数アイソセンターを選択します。

本研究では、単一アイソセンターと複数アイソセンターの治療計画を作成し、ターゲットや危険臓器に対する線量指標(線量体積ヒストグラム)を後ろ向きに検討し比較します。また、治療時にセットアップエラーが生じた際、セットアップエラーが線量分布に及ぼす影響を評価します。

3. 研究に用いる情報の種類

情報：CT 画像、MR 画像など、放射線治療実施に必要であった情報

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

大阪国際がんセンター 放射線腫瘍科 大平新吾(研究責任者)

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上